



世界文化遺産登録4周年記念講座

二ツ森貝塚の発掘の歴史

その学術的評価をさぐる

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である二ツ森貝塚は、昭和37年に青森県教育委員会、昭和50年に旧天間林村教育委員会によって発掘調査が行われました。どちらの調査も弘前大学との共同研究として実施されました。調査の際、貝塚を代表する出土品として「鹿角製櫛」が発見されました。しかし、それらの出土資料は整理されないまま残されていました。今後、これらの資料を適切に整理・報告することで、貝塚に関する新たな発見や評価が期待されます。そこで、現在、七戸町と弘前大学では共同研究「史跡二ツ森貝塚出土資料の研究」を行っています。

本講座では、当時の発掘調査資料を**限定公開**し、共同研究からわかった二ツ森貝塚の価値や魅力を、講師が講演と展示解説によりわかりやすくお伝えします。

2025年

7月13日



定員30名

受講料無料

13:30～15:30

二ツ森貝塚館 体験活動室

申込方法：二ツ森貝塚館へ直接電話にて申込ください。

申込〆切：7月3日 木曜日

■二ツ森貝塚館

開館時間 10:00～16:00

休館日 月曜日

TEL 0176-68-2612

住所 青森県上北郡七戸町字鉢森平 181-26



講師：上 條 信 彦 氏
(弘前大学人文社会科学部 教授)

主催・お問い合わせ：七戸町教育委員会 TEL：0176-62-9702